

高城屋敷門

たかしろやしきもん

市指定

所在地：北新町



戦国領主波多野氏の居城であった八上城内の屋敷門を、後年篠山城下の武家屋敷門として移築したものである。一間一戸、切妻造の薬医門^{やくい}で、当初は茅葺であったのが、移築後瓦葺に改装されている。後補の跡はあるが創建は室町期を下らず、八上城に関わる唯一の残存建物としてその価値は非常に高い。